



安倍内閣の暴走許さず 学校・保育園の存続、くらし応援に全力

4月から中学卒業まで医療費 を完全無料に

4月から医療費が中学卒業まで通院費も含め無料になります。市長選挙で日本共産党も加わる「憲法をくらしに生

かす稲沢民主市政の会」(略称「稲沢民主市政の会」)の茶原正士(ちやはらまさお)さんが訴えていた公約が一歩前進しました。

大野紀明市長が市長選挙の結果を受け、12月議会に追加

提案し、全会一致で成立しました。

また大野市長は保育園給食費や第3子以降の保育料の無料化を言わざるを得ませんでした。子育てを充実する施策実現に日本共産党は全力をつくします。

一方、大野市長は15万人都市を目指すとして国府宮駅周辺1km圏内の再開発や儲かつ



街頭で訴える(左から)渡辺幸保、曾我部博隆市議

ている企業を応援する施策を打ち出しています。

日本共産党は、開発優先、一部の企業応援から、市民の暮らしを応援する市政に全力をあげます。

市長選挙の結果は次の通りです(投票率37・33%)。

大野紀明 31281

茶原正士 8997

総選挙で8↓21へ



当選した(右から)本村伸子、島津幸広氏

12月14日の総選挙で、日本共産党は比例代表で606万票を獲得し、20議席を得ました。また沖縄1区で赤嶺政賢氏が当選し、改選8議席から21議席となり、衆議院でも議案提案権を持つことができました。

東海ブロックでも本村伸子、

島津幸広氏の2議席を獲得しました。

安倍総理大臣は、元日の年頭所感で「総選挙では、国民の皆様から力強いご支援をいただいた」として、アベノミクス、社会保障改革、外交・安全保障など「戦後以来の大改革」を「大胆に、さらにスピード感を持って、改革を推し進める」「改革断行の1年にしたい」と、暴走宣言をしました。

日本共産党は、国と地方で力を合わせ、安倍暴走を許さず、くらしを応援する政治に変えるために全力をあげます。引き続きみなさんのご支援をよろしくお願いします。

県知事選に

小松たみこさん



2月1日実施の県知事選挙に、革新県政の会の小松たみこさんを擁立して頑張ります(日本共産党推せん)。